



根知小発！ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育 2013



（※よめないじは、おうちのひとからおしえてもらってネ）

防災キャンプ2013（10月3日・4日）の振り返りから

自分にとっての1番！は、ウオークラリー！



児童7名がウオークラリーをあげていました。特に6年生に多く、下のような思いを書いていた。

- ・ウオークラリーでパンフレットをくばると、地域の人が喜んでくれたことが一番心にのこりました。
- ・2日目のウオークラリーで、みんなで協力して楽しくまわられたし、地域の人が喜んでくれてよかったなと思った。

熊本市から当校の防災教育を視察に来られた杉本千昭先生も一緒に活動され、後日感想を寄せていただきました。



活動中は、子どもたちや地域の方々を通して、防災に対する意識の高さを感じました。ウオークラリーでは、防災啓発パンフレットを届けに訪ねた家の方から、昨年度配布した安否札が玄関口にかけているのを見せていただいたり、パンフレットの内容についてご自分の備えについて話されたりする中で、子どもたちも自分たちの活動が地域にいかされているという実感をもてたようでした。学校から発信されたことが地域の中に根付き、地域ぐるみの防災の取り組みにつながっていているように感じました。（※一部抜粋）

6年生は、昨年度、上根知地域に安否札を歩いて配っています。配布した安否札が玄関先に飾られていたり、パンフレットを喜んで受け取ってくださったりと、自分たちの取組を好感的に受け止めていただいていることが、何よりのご褒美になっているようです。



第2位は、地震体験！（関東大震災や中越地震、東日本大震災など、過去の大地震での揺れを体験できる起震車に乗りました。）

- ・地しん体験で地しん体験車に乗ったら、他の県は過去にこんなおそろしい地しんがあったんだと感じました。
- ・本当にこんな地しんが起きたら怖いなと思いました。

第3位は、キャンプファイヤー！

- ・キャンプファイヤーを見て、火は大事なんだなと思いました。すごく体が温まりました。
- ・もしも、避難所に来たらキャンプファイヤーなどをしてみんなの心を温めたいなと思った。





根知小発！ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育 2013



（※よめないじは、おうちのひとからおしえてもらってネ）

防災キャンプ2013 地域・保護者から寄せられた声から



★（…前略）この度の「防災キャンプ」は、自分たちで考えて行動したり指示したりと、マニュアル通りの決まりきった行動ではなく、有事の際に間違いなく今回の訓練が活かされるキャンプであり、非常に新鮮味を感じるものがありました。（…中略…）HUG（避難所運営ゲーム）では、各班に分かれ災害時に学校が避難所となった事を想定し（…中略…）子供達も大人の輪に加わり、自分の意見をハッキリと発言し真剣に取り組んでいる姿を見て、普段から諸先生方からの教育が実を結んでこのような行動に表れているんだと先生方に感謝しながら感心して見せて頂きました。（区長 T さん）



★我が子との会話の中で根知小の防災教育が子どもの「身」になっていることを感じます。地区の防災訓練にもすすんで参加し、子どもだからと遠慮せず地域の一員として参加できました。（保護者 W さん）

★授業（津波災害）を地域の方からも見ていただく公開は、良かったと思います。その後の地域防災訓練に各区長さんの参加があり、訓練の中で、一人一人の力がでて、すごいと思いました。その他、避難して来られた方も予測もしないハプニングもありました。実際も、多くのハプニングがあると思いますので、一人一人の心構えも大切です。それと先生方の対応もなかなかすばらしいと思いました。（保護者 S さん）



★防災学習を通して、普段の学校教育にはない学習方法ができるのは、子供達にとっても大変良い経験・学習になると思います。また、地域住民との接触や、地域の特性を考える良い機会になると思います。いざ災害時の対処方法はもちろんですが、将来に渡って子供のうちから自分たちの住んでいる根知地域のことを、身をもって体験することは貴重な学習方法だと思いますので、是非継続してしてもらいたいものです。（保護者 K さん）



エピソード！



★ろうそくがこぼれて固まった後の後始末が大変でした。何か敷いてあげればよかったと思いましたが、後の祭りでした。ろうそくの芯が紙コップに近く、コップごと燃えてしまうものがありました。（担当としては、遊び心をもって楽しめました。）屋上の水浸しの件は想定外でした。（I 先生）



★「お米が炊けていない！…」青くなりながら、ビニール袋を使った炊飯にチャレンジしました。十分に沸騰していない状態で鍋に入れたためか、ビニール袋に穴が開いてしまうトラブルが…失敗は成功のもとと信じ、この経験を生かしていきます。（T 先生）

